


# 野津原地域ビジョン会議 通信

第1号

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆さんにご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

## 地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このようななか、市内各地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めてもらう中、それぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

## 第1回ビジョン会議

- 平成 29年 6月 8日（木）  
15：00～17：00
- 野津原支所  
2F 大会議室



### 開会

- 一、顧問紹介
- 二、地域まちづくりビジョン検討の進め方について
- 三、議事
  - 1 大分市総合計画について
  - 2 地域の将来人口について（人口ビジョンより）
  - 3 地域の状況について（各種資料の説明）
  - 4 市民との協働による地域コミュニティの活性化
    - ①地域まちづくり活性化事業の取り組み
    - ②市民協働の取り組み
  - 5 意見交換
- 四、その他

### 閉会

## 事務局より資料の説明

事務局より今後、地域まちづくりビジョンを策定するにあたり参考となる大分市総合計画や地域の将来人口、地域コミュニティの活性化等について説明を行いました。

### ◇総合計画

大分市総合計画は、福祉や環境、商工業など、各個別計画の最上位に位置する計画であり、大分市の行政運営はすべてこの総合計画に沿って進められています。

本計画では、大分市がめざすまちの姿（都市像）として「笑顔が輝き夢と魅力あふれる未来創造都市」を掲げ、その将来像の実現に向け①「健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり」、②「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり」、③「安全・安心を身近に実感できるまちづくり」、④「にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり」、⑤「将来にわたって持続可能な魅力あふれる街づくり」、⑥「自然と共生する潤い豊かなまちづくり」の6つの基本的な政策に沿った各種施策を展開しています。

### ◇人口推移

野津原地域は、本市の人口の約1%を占めていますが、平成52年には約25%減少すると推測されており、本市全体と比較すると人口の減少率が大幅に高くなっています。

また、年少人口、生産年齢人口、高齢人口の全ての階層で人口が減少する見込みとなっております。平成27年以降の人口動向はあくまで平成22年の国勢調査をベースに推測した数値ではありますが、少子化、高齢化、人口減少が進んでいる状況は間違いありませんので、地域が活性化するためのご提言をいただきたいと思います。

### ◇野津原地域の現状について（各種データ）

資料は、野津原地域の範囲や地域内の避難所、保育施設など、今後、地域ビジョンの議論を進めるうえで必要と思われる主なものをまとめています。今後の議論の参考として活用して頂きます。



# 意見交換

それぞれ委員皆様から野津原地域が強く優れた部分、弱い又は苦手な部分などの視点で、多くのご意見をいただきました。

・野津原の強み。今度ダムが出来ますけれど、これを軸にいろいろなものを開発、または農産物も含めて研究しながら、みんなで相談しながらやっていけたらいいなと思う。

・子育て環境は自然豊かで市内にも近いのでその辺は強みだと思います。スポーツやウォーキングなど健康をイメージしたことができればと思いました。



・ダムの周辺設備について、交流拠点は「イラストラゴ」という名称になるのですか。イタリア的なものを作るとか、その辺を知りたいと思います。

・高齢者がある程度退職して野津原に住んでみようかという形のものも考えられる。空家の状況をやはり確認をしていただいて、情報を流していただいて移住希望者を増やす。



・小学校が3校統合されます。そうなりますと若い人が野津原に帰ってきて住もうかという環境ではないなと思います。私の地域を考えると高齢化率が50%越えているという状況です。限界集落に来ている感じがします。

・若い人の指導者を養成、野津原の場合、私はひとつづくりが第1だと思います。制度的なものを行政でできないかなと思っています。

・県の方にお願いして国道442号の改良を早期に進めて車の量を増やすことが必要ではないかと思っています。

